




2歳児クラス 12月 第3回 「サンタのおまじない」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材


シアタータイム

導入	・講：折り紙とハサミを用意。「ちょきちょきぱちん」の合言葉に合わせて簡単な形を切る。(例：折り紙を二つ折してリンゴの形、そこから☆の形など)「ぱっ！」と開いて見せるなどしてお話の導入をする。	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット) はさみ・折り紙(6色)	 
	①合言葉「1・2・サンタ！」または「ちょき ちょき ぱちん」は、みんなで声をそろえて言う。小さい声の時は変身しないなど、子ども達の気持ちを高めながら楽しく進行する。 ②「どんな形に変身するかな？」と細部まで着目し、部分にも視線が向くよう問いかけながら進行する。	保育士の役割 ・子ども達と一緒に形の変化を楽しみ、盛り上げる	

がくしゅうタイム

活動①		ねらい	形	折った折り紙の線をはさみで切ることによって星の形になることに興味を持つ	
お星様を作ってクリスマスツリーを完成させましょう					
設問	つなぎ	・講：「ちょきちょきぱちんのおまじないで、いろんな形が現れて…素敵だったね。」 ・保：「ジングルベル♪ジングルベル♪お届け物です」とクリスマスの歌を歌いながらツリープリントを提示。			
活動内容		・講：「ありがとう！クリスマスツリーが届いたよ。でも何か寂しいね。もっと綺麗に飾りたいね。何か良いものないかな」 ・保：「こんなのいかがですか？」とシールを提示。 「今日も比べっこ。おはじき3個入ったお皿と交換です」と2つの皿を提示する。			教材
		<div>数にチャレンジ</div> <div>・講：見本行動。2つの皿を比較して「こっちは…1・2。こっちは1・2・3…だからこっち！」と数えて確認し、おはじき「3個」と交換でシールを受け取る。</div> <div>・講：シールをツリーの木の中に貼る見本を見せる。(シールのゴミは皿の中) ※ツリー上部の両面テープが気になる子には、剥がさない様に言葉を添える。 「みんなも一緒にツリー作ろうか？」と意欲を引き出しツリーを配布する。</div> <div>・子：講師と同様、数チャレでシールを受け取り貼っていく。</div> <div>・講：シールを貼ったツリーを皆で見せ合う称賛。 「でも…まだ何か足りないね。そうだー！良いものあるよ」と『提示用星の元』を提示。(boxなどに入れてプレゼントとして届ける演出をしても良い) 「線の所をちょきちょきぱちん！切るとどんな形になると思う？」と子ども達に出来上がる形を想像させながら、はさみを提示。以下の様に10月に一度確認した『はさみの使い方』を再度確認しながら、線の部分を切って見せていく。 ①はさみの持ち方の確認(1つの穴に親指、もう1つに小指以外の指を入れる) ②反対の手で折った紙の元の部分を持ち「はさみはパー(刃を開く)」開いたはさみの根元部分に星の元の線部分を入れて「ちょっくん」をキーワードに切って見せる。 切れたらはさみを一度安全な状態に片付け、ワクワクしながら星の元を開いていく(開くときに切れてしまう子もいるので「ゆっくり」を強調する)。 「ジャーン！お星様！」とオーバー気味に驚いて見せる。 「みんなも切ってみる？」と子ども達の星の元提示。意欲を引出し配布する。</div> <div>・子：受け取った子から講師・保育士が順番にフォローして切り、ゆっくり開いていく。</div> <div>・講：「切れた？お星様になった？みんなで見せっこしようか。できました！きらきら！」 「このお星様ツリーに飾ろうか！」ツリー上部に貼って見せる。</div> <div>・子：講師と同様に星を貼る。(シールごみは皿の中)</div> <div>・講：「完成したツリーをみんなで見せっこしようか？」と提案。 クラスの数・状態に合わせて数名ずつで前に出て発表、インタビュー大会。</div> <div>・子：ツリーを持って前に出て並び、講師の質問に答えて行く。 ※インタビュー例：①名前 ②年 ③サンタさんから欲しい物 等 ※子どもの前に保育士を指名。インタビューのやり取りの見本を見せると良い。</div> <td>P1(両面テープ付) 星の元(切りとり線入り)1人1枚 ※クラスの状況によっては人数分予め切って準備し子どもは開くのみでも良い 提示用星の元 クリスマスシール 1人1枚 飾り用シール3色 9mm1人各2枚 15mm1人各1枚 ※シールは予め1人分ずつ皿に入れておく はさみ(講師・保育士用) おはじき お皿</td>			P1(両面テープ付) 星の元(切りとり線入り)1人1枚 ※クラスの状況によっては人数分予め切って準備し子どもは開くのみでも良い 提示用星の元 クリスマスシール 1人1枚 飾り用シール3色 9mm1人各2枚 15mm1人各1枚 ※シールは予め1人分ずつ皿に入れておく はさみ(講師・保育士用) おはじき お皿
					保育士の役割
					・ツリープリント提示 ・シール提示 ・数にチャレンジ出題 ・プリント配布 ・子ども達におはじき「3個」の方を選ばせてシール配布 ・星の元配布 ・子ども達をフォローしながら星の元を切る ・称賛 ・プリントの回収

活動内容

※前に出ることを無理強いしない。嫌がる子には保育士が付きフォローしながら席で答えても良い。 家の何処に飾るか期待を持ってツリーを回収、又は壁や意欲ロープなどに飾り、称賛して終了。　＜活動②＞へ進む。			
活動②	構成	出来上がった絵をイメージしながらパズルを完成させることができる	
問	パズルを完成させましょう		
つなぎ	・保：「♪ジングルベル♪ジングルベル」とプレゼント用にパズルを届ける。		
活動内容	・講：「こんどは何か？」とパズルを提示。「パズルだって。何が出来るかな？先生やってみるね」と「くるくる…ぴったんこ」をキーワードにパズルを完成させる見本行動を見せる。		教材
	・保：「みんなの分もありますよ！」と子どもの分のパズルを提示。 ・講：※時間を見て子ども分はお土産として持ち帰らせても良い。 ※子どもの活動を行う場合は、講師が完成させたものを見本として前に提示しておく。途中、迷う子には完成した絵を良く見せ「これはどこの部分かな」とそれぞれのピースの絵と照らし合わせながら、完成させていくと良い。 ※パズルは「お家でもやってみよう」とビニール袋の中に入れ、期待感を持って活動を終了する。		パズル　１人１セット ※提示用にマグネットを付けるなど準備する ビニール袋１人１枚 保育士の役割 ・パズル提示 ・パズル配布 ・パズル構成の補助 ・称賛 ・ビニール袋配布 ・パズル回収

数チャレ	数	おはじき「3個」入った皿を選ぶことができる	教材
設問	2つの皿の比べっこ。おはじき「3個」入った皿はどっち？		
活動内容	※<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達がわくわくするような読み方が出来たか
活動① 形	形の変化に興味を持たせられるようなはさみの提示が出来たか
活動② 構成	キーワードを用いて構成の指導を行ったか
数チャレ(3:2)	瞬時に「3」を選ばせることが出来たか
全体を通して	最終授業を盛り上げ、来年への期待を持たせて終了出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・制作 ***

星作り

・下の折り方を参考に子ども達と一緒に折って、切って「星作り」を楽しんでみてください。
 ※今回活動の中では予め折ったものを先生と一緒に切り、開いて星作りを体験しました。
 ※重なった部分を切るのは力が必要になりますが、一緒に折る所から始めて、最後の切るところまで、子ども達と一緒に楽しんでみてください。



切る角度を変えることで星の形も変わってきます色々試してみましょう！

今月のえかきリズム

*** ゆきだるま ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

